

RF07 【ラフティング プログラム G】 ツアー詳細情報

Rafting Program G Island Safari 社

含まれる物：

ホテル間送迎（一部地区は要プラス送迎料）、下記プログラム代、ツアー保険、英語ガイド
※スワナクハ洞窟寺院にて洞窟内に入場の場合は、別途入場料（寄進）お一人様 20B

プログラムの内容

ラフティング 5 基、滝遊び、フィッシュパ、象乗り 30 分、ATV30 分、フライングフォックス、象 & サルショー、フルーツ園見学、ランチ、スワナクハ洞窟寺院見学

服装：

多少汚れても大丈夫な軽装、スポーツサンダルやビーチサンダルなど
移動中の車内は冷房がきいていますので寒がりな方は軽い上着、日差し対策に帽子やサングラスなど
※寺院見学が含まれますので露出の多い服装はお控えください
※ラフティングキャンプにて水着に着替える事が出来ます

お持ち物：

ご予約確認書、ホテルで貸してくれるビーチタオル、水着、日焼け止め、カメラ、お着替えなど

ツアー中に使えるお金の参照：

記念写真代 2 枚で 800 B、有料のドリンク代（お水約 30B、コーラ約 40B など）、象のイサ 1 回約 100B、お土産物代（T シャツ約 300B など）、お気持ちでラフティングガイドや象使いさん、担当ガイドさんへのチップ

チップの目安： あくまでもお気持ちです

ラフティングガイドお一人様 100B～、象使い 2 名様で 100B～、担当ガイドさんお一人様 100B～

あると便利な物：

日焼け対策用のラッシュガードや T シャツ、帽子、サングラス、ウォーターシューズ、防水バック、おトイレ用の紙など

ホテルお迎え時間：

基本的には、パトン、カロン & カタ地区朝 7：15 頃の予定ですが、
正確なホテルお迎え時間は、必ず「ご予約確認書」にてご確認ください！

ガイド待ち合わせ場所：

基本的には、プーケットタウン郊外のミーティングポイントにてお待ち合わせとなります。

帰りの服装：

基本的には、ラフティング終了後更衣室にて乾いた洋服へお着替えください。

注意事項：

- ・ツアー内容が異なった、プログラムが抜けていたなどのトラブルは必ず**現地から**ご連絡ください。
- ホテル帰着後または日本帰国後にご連絡頂いてもご返金等の対応は致しかねますので予めご了承ください。
- ・日差しが大変強いですので、水分をたくさん取り、日焼けと脱水には十分ご注意ください！
- ・おトイレには紙が無い事が多いですので、ご自身にてお持ち頂きトイレには流さずゴミ箱へ捨ててください！
- ・ゴミやおタバコの吸殻は、ゴミ箱へ、またはお持ち帰り下さい！
- ・カメラ等は、濡れないビニールの袋に入れてお持ち歩き下さい！



*ラフティング場について

ラフティング場は、プーケットから出てさらに北上した、お隣のパンガー県にあります。

プーケットから比較的近く、道路も舗装状態がいいですので、快適に移動出来ますし、プーケットを出ると大きな山々が見え、緑も濃くなり、ダイナミックな景色になってきます。

パンガー県には、大きな山々が連なり、大自然のジャングルには、野生のトラが住んでいるとか！？

また、世界最大の花「ラフレシア」も咲く本格的な熱帯雨林のジャングル地帯があり、多くの地区がタイの国立公園に指定されています。

ラフティング場は、大変綺麗に整備されていて、トイレやシャワー、ロッカーなどが大変しっかりとしています。

川のほとりにあり、緑や花のあふれるガーデンも大変美しいです。

ダムの上にあり、ラフティングの時間に合わせてダムの水を放水致しますので、ラフティングの時間は激流となり、ラフティングが終わると普通の川の流れとなります。

また、他ではなかなか体験出来ない滝遊びもこのツアーならではの魅力です！

よくある質問のQ & A

Q1： 蚊や虫が多いですか？

A1： 蚊は、全く居ない訳ではありませんが、ツアーは日中ですので、それほど多くは感じません。
虫はいますが、それほど怖い虫（ムカデ、ヒル、大グモなど）はほとんど居ません。

Q2： 全くの初心者ですが出来ますか？

A2： 初めての人が多いです。ベテランのスタッフがボートをコントロールしていますので大丈夫ですよ。

Q3： ボートがひっくり返ったり、ボートから落ちる事はありますか？

A3： ボートがひっくり返る事は滅多にありません。しかし、ボートから落ちる事は、時々あります。
落ちてヘルメットやライフジャケットがありますので大丈夫です。
ボートの乗る前に説明がございすが、激流内では手足を水面に上げて流れに沿って下さい。
流れの弱い所で救助用のラインを掴んで救援のボートを待って下さい。

Q4： メガネをかけて参加出来ますか？

A4： メガネは落ちやすいですので、外されるか、コンタクトレンズのご使用をお勧め致します。
どうしてもメガネにてご参加の場合には、メガネにスポーツ用のラインを付けて下さい。
またメガネを落とされた場合には補償出来ませんのでご了承下さい。

その他のご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい！